

## 2018年版(平成30年)五所川原市特別版 青森県民手帳を販売しています

販売場所 企画課、各総合支所庶務係

価格 500円(税込)

手帳の規格

サイズ 150mm × 85mm

ページ 本体160ページ・別冊80ページ

カバー 全5色 まぐろブラック(黒系)／さばブルー(青系)／りんごレッド(赤系)／けまめグリーン(緑系)／だけきみイエロー(黄系)

\*ご希望の色が売り切れる場合がありますのでご了承ください。

\*今年も、カバーの表と裏に五所川原市イメージキャラクター「ごしょりん」を型押ししました。

▷平成10年から最新作までの立佞武多や、旧五所川原市、旧金木町、旧市浦村および合併後の五所川原市のあゆみを掲載しています。

▷使いやすさはそのままに60年記念リニューアル！カバーのカラーバリエーションを大幅リニューアルし、人気の4色のマイナーチェンジと、遂に登場！

だけきみイエロー！まぐろ、さば、りんご、けまめ、だけきみ。青森の自慢の美味しい県産品の名前を冠した食欲のそそる1冊です。

▷年間・月間・週間の3種のダイアリーでスケジュール管理はお手のもの。過去5年間の天気や気温も載っていて、お出かけの計画も立てやすく、日記などの日々の備忘録代わりに大活躍。2018年版では住所録が別冊化して少しだけ便利になり、住所録の分だけメモページも増量してますます便利で色々使える手帳です。

▷変わらないけど、そこがいい！青森県のデータがすぐわかるお得な手帳です。今年も1冊500円(税込)！青森県の日本一に、県や市町村の統計データ、観光名所に県内のイベントカレンダーまで、青森県のことならなんでも掲載。困ったときの暮らしの相談窓口も掲載。これ1冊で青森県に詳しくなれちゃうお得な手帳です。

問 企画課 内線2157

## 講演会「五月女菴遺跡のここがスゴイ — 亀ヶ岡遺跡と比較して —」開催

五所川原市相内にある縄文時代晩期の五月女菴遺跡は平成29年7月20日に市の史跡に指定されました。五月女菴遺跡がどのような遺跡だったのかより詳しく紹介するため、10月6日から企画展「五月女菴展」を開催しています。発見された土器や石器、土製品、人骨などを展示し、好評を頂いております。

このたび五月女菴遺跡の発掘調査にご尽力いただいた弘前大学人文社会科学部教授の関根達人氏による講演会を開催しますので、ぜひお越しください。

日時 11月11日(土) 13:00~14:00

場所 立佞武多の館4階 練習室2

講師 弘前大学人文社会科学部教授 関根達人氏

入場料 無料

\*講演会終了後、講師による展示解説を行います。(講演会に参加される方は、企画展の入館料も無料となります)



問 文化スポーツ課 内線3323

## 津軽鉄道乗客数1億人達成記念セレモニー

津軽鉄道が昭和5年に開業してからの乗客数が9月21日、1億人を達成し記念セレモニーが行われました。

1億人目となったのは、東京都新宿区在住の川口充さんで、今回、職場の元同僚の方と観光のために五所川原を訪れ、津軽鉄道に乗車したとのことでした。

川口さんは「自分が1億人目とは大変驚いた。88年の歴史の節目に立ち会うことができ、大変光栄です」と話していました。

1億人目の川口さんには認定書と記念品と花束が贈呈されました。



1億人目となった川口さん(前列右から3人目)